

環 境 白 書

【平成22年度報告】

沖 縄 県

環境白書の発行に当たって



沖縄県は、亜熱帯海洋性気候の下、美しいサンゴ礁が発達した青い海と多様な野生生物が生息・生育する緑豊かな島々から構成されております。

このかけがえのない豊かな自然環境を守り育て、将来の世代に引き継いでいくため、県では、「循環」「共生」「参加」「地球環境保全」をキーワードとする「沖縄県環境基本計画」を平成15年4月に策定し、「豊かな自然環境に恵まれたやすらぎと潤いのある沖縄県」の実現に

向けた様々な環境施策の推進に取り組んでおり、平成23年度からは、新たな沖縄県環境基本計画の策定に向けて作業を進めているところであります。

豊かな自然環境の保全については、やんばる地域でのマングース防除事業の強化や「サンゴ礁保全・再生・活用計画（素案）」の策定に向けたサンゴの全県調査を実施するとともに、自然公園の指定と管理、琉球諸島の自然遺産登録の推進や生物多様性地域戦略の策定に取り組んでおります。

沖縄県特有の赤土等流出対策としては、赤土等流出防止条例に基づき、事業現場からの流出防止に取り組むとともに、赤土等流出防止対策を総合的・計画的に実施するため赤土等堆積状況調査等を実施することにより、利水形態や自然的条件を考慮した陸域からの削減目標となる「赤土等に係る環境保全目標」を策定しました。

また、廃棄物対策については、県内における廃棄物の適正な処理体制を確保し、生活環境の保全を図るため公共関与による産業廃棄物管理型最終処分場の整備に取り組むとともに、廃棄物の排出抑制や再生利用等の促進、不法投棄等防止対策の強化など、循環型社会の形成に向けた施策を推進しております。

更に、地球温暖化対策として、県民、事業者への環境教育並びに普及啓発活動を推進するとともに、県自らが率先してエコオフィス活動、エコドライブ、E S C O事業などの省エネ改修事業等に取り組み、あわせて、当該事業の普及を促進しております。

こうした施策を着実に進め、より一層環境負荷の低減を図り、沖縄県の豊かな自然環境を次の世代に継承していくためには、県民、事業者、行政等すべての主体が、環境に負荷を与えている存在であることを認識し、自然環境を保全することの大切さを学び、協力して環境保全活動に取り組んでいかなければなりません。

この白書は、平成22年度の沖縄県の環境の現状と対策をまとめたものであり、本書が県民の皆様への環境への関心と理解を深め、環境保全活動の取組に役立てられることを期待しております。

平成24年3月

沖縄県知事 仲井眞 弘多